付紙様式第２

事　業　評　価　書

補助事業名	岩手山中演習場関連公共用施設（教育文化施設：小中学校電子黒板等購入）整備事業
補助事業者名	岩手県八幡平市長　田村正彦
実施場所	岩手県八幡平市地内（小学校10校、中学校４校の計14校）
補助事業の成果の目標	電子黒板は、これまでのデジタルテレビやプロジェクタの特徴である拡大提示機能に加え、インタラクティブな操作が可能となる。これに伴い、画像の拡大や書き込み、保存・再生などができ、児童生徒の授業への関心が高まるとともに、理解が深まる学習効果が期待できる。 このことから、ＩＣＴ機器を活用した「わかる授業」を実現するために電子黒板等を各小中学校に導入し、現代社会に適応した情報教育環境の向上を図り、児童生徒の満足度の向上を図る。
補助事業の内容	電子黒板機能内蔵プロジェクター14台（付属品として電子ペン１台当たり２本）、マグネットスクリーン14台、書画カメラ14台（小学校10校：大更小、田頭小、平笠小、平舘小、寺田小、松野小、寄木小、柏台小、安代小、田山小　中学校４校：西根中、西根第一中、松尾中、安代中）
補助事業の始期及び終期	平成28年度

事業費及び交付金額

	28年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	計
事業費	円 3,885,840	円	円	円	円	円	円	円 3,885,840
交付金額	2,800,000							2,800,000

補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	・整備後、小学校10校、中学校４校の児童生徒全員を対象に満足度アンケート調査を実施した結果、使用満足度及び使用理解度のいずれの設問項目において、満足または理解の回答を大半の方から得られたことから、情報教育環境の改善が図られ、生徒の利用満足度が向上したと考える。 ・購入した電子黒板等に「平成２８年度特定防衛施設周辺整備調整交付金の補助を受けて整備しました。」を表示し、生徒及び教師、学校関係者に周知した。 ・ホームページに「八幡平市は、防衛省の平成２８年度特定防衛施設周辺整備調整交付金の補助を受けて、八幡平市立小中学校１４校に電子黒板等を各１組整備しました。」を掲載し、市民への広報活動を行った。
事業の改善策及び今後の対応	特になし。
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無